

## 東海経済レポート（2016年3月）

～引き続き緩やかな回復基調ながら、一部に足踏みの動きも見られる～

経済調査室（名古屋）

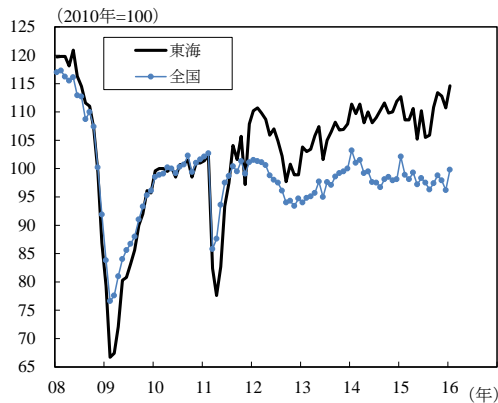
### 1. 足元の経済情勢

- ✓ 生産は、1月に前月比+3.5%と3ヵ月振りに増加し、リーマン・ショック後の最高水準となった。業種別では、電子部品・デバイスが全体を牽引。
- ✓ 設備投資は、大企業の昨年10-12月期の投資額が前年比+10.5%と、引き続き高い伸びを維持。ただ、その先行指標とされる金属工作機械の国内受注額は1月に前年比▲9.1%と、4ヵ月連続で減少。
- ✓ 輸出額（円ベース）は、1月に前月比▲5.3%と4ヵ月連続で減少。品目別では、工作機械が前月比▲19.1%と3ヵ月連続の減少となり、2011年3月以来、約5年ぶりの低水準まで落ち込んだ。
- ✓ 雇用は、需給の引き締まった状況が継続。1月の有効求人倍率は、愛知県が1.63倍と3ヵ月連続で上昇。岐阜県も1993年1月以来の高水準となる1.70倍へと更に上昇。一方、三重県は1.33倍と3ヵ月振りに低下するも、依然リーマン・ショック後の最高に近い水準を維持している。
- ✓ 個人消費は、1月の小売主要3業態の販売が前年比+2.7%と、10ヵ月連続でプラス。一方、1月の新車販売台数は前年比▲2.2%と、5ヵ月連続で減少。マイナス幅は縮小したものの、販売回復の足取りは鈍い。
- ✓ 住宅着工は、1月に年率換算で7.7万戸と、前月比+2.7%。昨年8月以降の停滞からは脱却の兆しが見られるが、着工戸数の水準は依然低い。

### 2. 当面の注目点・リスク要因

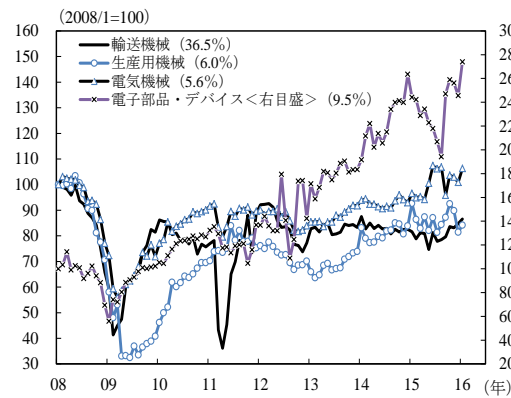
- ✓ 足元までの経済指標から、東海経済は全体として引き続き緩やかなペースで回復を続けているが、一部に足踏みの動きも見られる状況。
- ✓ また、一時に比べると落ち着きを取り戻しつつあるものの、世界経済の先行き懸念などを背景として、資源価格や為替など不安定な相場が続く。輸外型産業が集積する東海経済にとっては、その影響に留意を要する状況。
- ✓ 当面の注目点は、①世界経済や金融市場の変調が地域経済に及ぼす直接・間接の影響、②人手不足への対応や設備投資・賃上げを通じて地域全体での好循環が維持・継続されていくかどうか、となる。

**生産①** 1月の鉱工業生産指数は前月比+3.5%と3ヵ月振りに上昇。



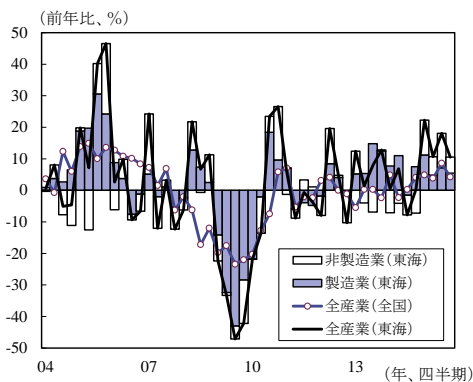
(注)1. 東海は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 季節調整値。  
(資料)中部経済産業局統計等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**生産②** 業種別では、1月は電子部品・デバイスが3ヵ月振りに増加し、全体を牽引。



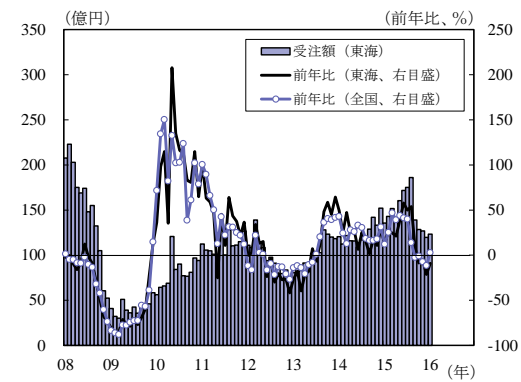
(注)1. 東海は愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 季節調整値。  
3. ( )内の数字は、業種毎の付加価値額の比率(H22年基準)。  
(資料)中部経済産業局統計等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**設備投資** 10-12月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資は、前年比+10.5%と4四半期連続で2桁の増加。伸び率も全国を上回る。



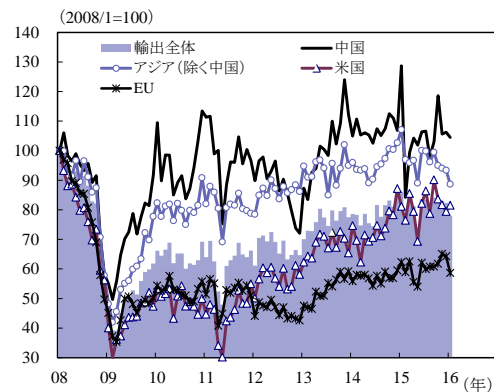
(注)1. 東海は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。  
2. 資本金10億円以上の企業を対象。  
3. 設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。  
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**金属工作機械受注(国内)** 設備投資の先行指標とされる金属工作機械の国内受注額は1月に前年比▲9.1%と、4ヵ月連続でマイナス。



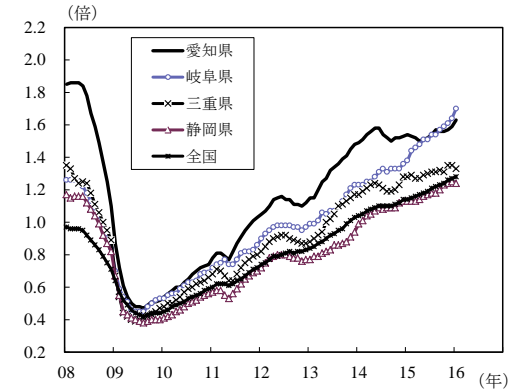
(注)1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社。  
2. 受注額は当室による季節調整値。  
(資料)中部経済産業局統計等より  
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**輸出** 1月の輸出額(円ベース)は、前月比▲5.3%と4ヵ月連続で減少。米国向けが増加した一方、アジア向け、中国向け、EU向けが減少。



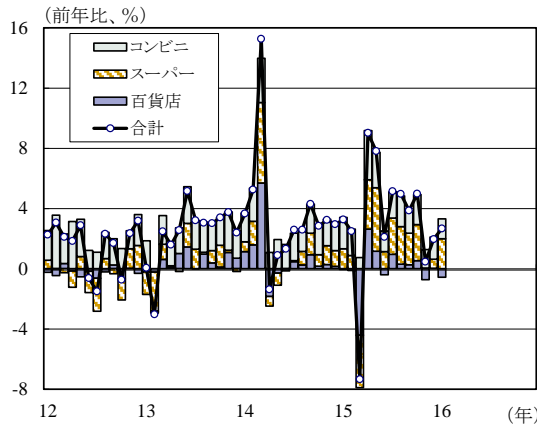
(注)1. 愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
2. 当室による季節調整値。  
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**雇用** 1月の愛知県の有効求人倍率は1.63倍と3ヵ月連続で上昇。岐阜県も1993年1月以来の水準へ上昇。一方、三重県は3ヵ月振りに低下。



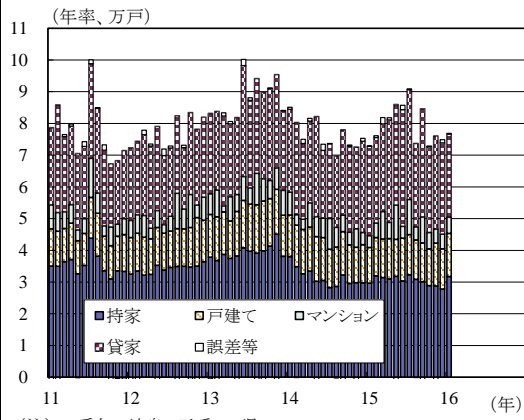
(注)1. 有効求人倍率=有効求人数÷有効職者数。  
2. 季節調整値。  
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**個人消費** 1月の小売主要3業態の販売は前年比+2.7%と、10ヵ月連続でプラス。



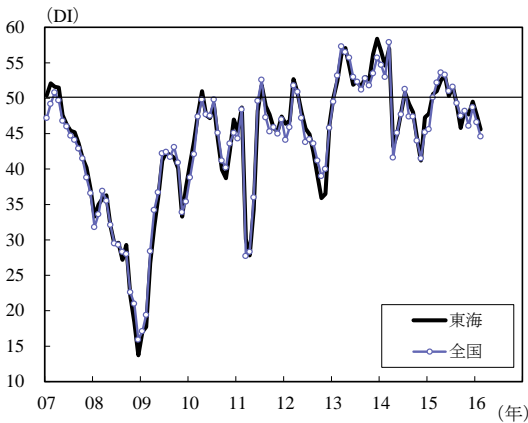
(注) 1. 愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。  
2. 当室による季節調整値。  
(資料) 中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**住宅投資** 1月の住宅着工戸数は年率換算で7.7万戸と、前月比+2.7%の増加。



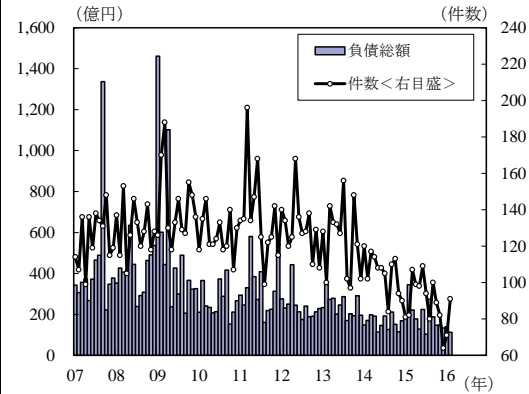
(注) 1. 愛知、岐阜、三重の3県。  
2. 当室による季節調整値。  
(資料) 国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**景気ウォッチャー調査** 2月の景気現状判断DIは45.6と、7ヵ月連続で50.0を下回った。前月比では▲2.0ポイントの低下。



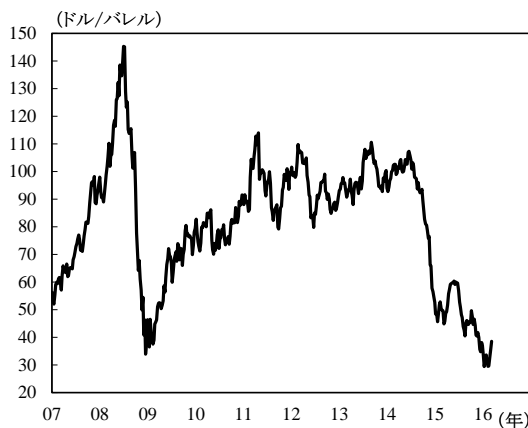
(資料) 内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**倒産件数** 2月の企業倒産件数は91件と、前年比+11.0%の増加。負債総額は同▲67.2%の減少。



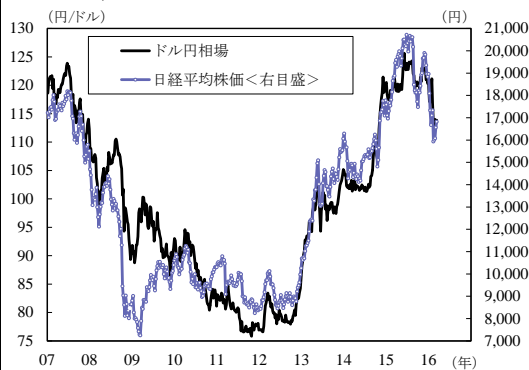
(注) 愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。  
(資料) 東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**原油価格** WTI先物は、主要産油国での増産凍結に向けた動き等を好感し、反転。足元は1バレル38ドル前後で推移。



(注) 原油価格はWTI先物。  
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

**円相場・株価** 世界経済の失速不安の軽減から、リスク回避の動きもやや後退。為替市場は1ドル113円台後半の推移。日経平均株価も17,000円台まで回復。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成



照会先：三菱東京 UFJ 銀行経済調査室（名古屋） 中村 健彦 takehiko\_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。